

京都市告示第 4 2 5 号

地方公営企業法第 40 条の 2 及び京都市公営企業の業務状況公表に関する条例に基づき、平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日までの期間における京都市公営企業の業務状況を公表します。

平成 24 年 3 月 7 日

京都市長 門 川 大 作

## 平成23年度前期京都市自動車運送事業業務状況

### 1 事業概況

自動車運送事業（市バス）は、きめ細やかに張り巡らせた路線のネットワークにより、市民生活に欠くことのできない身近な公共交通機関として、また、観光客の便利で手頃な交通手段として、多様な都市活動を支えています。さらに、高齢者や障害のある方への対応、低炭素化社会の実現に向けた自家用車から公共交通への利用転換など、人や環境にやさしい交通機関としてもその重要性を増しています。

しかしながら、交通手段の多様化や景気低迷による出控えなどにより、お客様の数が伸び悩んでいることから、今後も厳しい経営状況が続くと予想されます。

### 2 経営健全化の取組

平成23年度前期は、財政健全化法によって策定した「京都市自動車運送事業経営健全化計画」に基づき、黒字基調を堅持し、一般会計からの任意補助金に頼らない運営を目指すという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

#### (1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

平成23年3月に実施したダイヤ改正では、夜間時間帯を中心に地下鉄をはじめとする鉄道との乗継待ち時間の短縮を図るとともに、堀川通での朝ラッシュ時間帯の運行間隔を3～10分から5～7分間隔とし、待ち時間の短縮を図りました。さらに、午後時間帯を中心に混み合うことの多い、祇園や五条坂など東山方面から京都駅へのアクセスを充実させるため、既存系統の一部を九条通から京都駅八条口経由の運行に変更するなど、利便性の向上を図りました。また、ゴールデンウィーク等においては、金閣寺 Express、銀閣寺 Express や東山シャトル等の臨時輸送の増強を行うなど、積極的な利用促進に取り組みました。なお、学校の夏休み期間中、市バスを保護者同伴でご利用の場合に小学生2人までの小児運賃を無料とする「市バス eco サマー」を、昨年度に引き続き実施しました。

#### (2) コスト削減の取組

コスト削減策では、給与カットの継続など総人件費の削減に取り組むとともに、経費の節減にも努めました。

## (3) 運輸成績

〔平成23年4月 1日から  
平成23年9月30日まで〕

区 分		当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)		183	183	-	-
営業キロ数 (km)		455.43	458.06	△ 2.63	△ 0.6%
在籍車両数 (両)		765	765	-	-
使用車両数 (両)	一般路線	122,796 (671)	122,201 (668)	595 (3)	0.5% (0.4%)
	定期観光	365 (2)	413 (2)	△ 48 -	△ 13.2% -
	合計	123,161 (673)	122,614 (670)	547 (3)	0.4% (0.4%)
走行キロ数 (km)	一般路線	14,751,656 (80,610)	14,767,016 (80,694)	△ 15,360 (△ 84)	△ 0.1% (△ 0.1%)
	定期観光	20,152 (110)	24,959 (136)	△ 4,807 (△ 26)	△ 23.9% (△ 23.6%)
	合計	14,771,808 (80,720)	14,791,975 (80,830)	△ 20,167 (△ 110)	△ 0.1% (△ 0.1%)
旅客数 (人)	一般路線	58,199,301 (318,029)	58,347,649 (318,839)	△ 148,348 (△ 810)	△ 0.3% (△ 0.3%)
	定期観光	11,672 (64)	12,189 (67)	△ 517 (△ 3)	△ 4.4% (△ 4.7%)
	合計	58,210,973 (318,093)	58,359,838 (318,906)	△ 148,865 (△ 813)	△ 0.3% (△ 0.3%)
旅客収入 (千円)	一般路線	9,193,174 (50,236)	9,253,915 (50,568)	△ 60,741 (△ 332)	△ 0.7% (△ 0.7%)
	定期観光	41,657 (228)	43,011 (235)	△ 1,354 (△ 7)	△ 3.3% (△ 3.1%)
	合計	9,234,831 (50,464)	9,296,926 (50,803)	△ 62,095 (△ 339)	△ 0.7% (△ 0.7%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数値である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成23年 4月1日から  
平成23年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
自動車運送事業費用	8,534,264	自動車運送事業収益	10,920,241
営業費用	8,465,985	営業収益	10,001,180
保 存 費	634,199	運 送 収 益	9,149,799
運 転 費	3,848,500	そ の 他	851,381
管 理 費	3,330,185	営 業 外 収 益	919,061
減 価 償 却 費	653,101	他 会 計 補 助 金	915,603
営 業 外 費 用	68,279	そ の 他	3,458
支 払 利 息	54,730		
雑 支 出	13,549		
当期純利益	2,385,977		
合 計	10,920,241	合 計	10,920,241

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	26,283,705	固 定 負 債	800,000
有形固定資産	26,260,381	他会計借入金	800,000
無形固定資産	11,232	流 動 負 債	6,560,941
建設仮勘定	1,092	一時借入金	5,250,000
投 資	11,000	未 払 金	757,905
流 動 資 産	1,578,893	預 り 金	179,727
現金預金	558,036	前 受 金	370,925
未 収 金	594,564	仮 受 金	2,384
貯 蔵 品	34,089	資 本 金	13,740,024
前 払 金	97,145	自 己 資 本 金	6,755,288
仮 払 金	295,059	借 入 資 本 金	6,984,736
		剰余金(欠損金)	6,761,633
		資 本 剰 余 金	10,916,749
		欠 損 金	△ 4,155,116
合 計	27,862,598	合 計	27,862,598

備 考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、215億690万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	7,983,150	0	998,414	6,984,736
合 計	7,983,150	0	998,414	6,984,736

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、52億5千万円です。

## 平成23年度前期京都市高速鉄道事業業務状況

### 1 事業概況

高速鉄道事業(地下鉄)は、烏丸線と東西線の2路線で市域を東西南北に貫き、他の鉄道路線との接続による広域的な交通ネットワークを形成するとともに、市内に網の目のように張り巡らせた市バス路線と合わせ、市民や観光客の大切な足として多様な都市活動を支え、本市交通の基幹となる役割を果たしています。

高速鉄道事業は、一般的に建設費用が巨額であるため、収支の採算を確保するには極めて長期間を必要とします。本市高速鉄道事業の場合、東西線の建設時期が建設費高騰のバブル期と重なったこともあり、全国一厳しい財政状況となっています。

### 2 経営健全化の取組

平成23年度前期は、財政健全化法によって策定した「京都市高速鉄道事業経営健全化計画」に基づき、将来にわたって地下鉄を安定的に運営していくという経営目標に沿って、一層の経営健全化に取り組みました。

#### (1) お客様サービスの向上と増収・増客の取組

経営健全化計画に掲げる1日5万人の増客目標を達成するため、京都市内観光や大自然の比叡山まで満喫できる便利な企画乗車券として、本市地下鉄全線、京都バスの一部区間や叡山ロープウェイ等が1日乗り放題となる「地下鉄&比叡山きっぷ」を期間限定で発売しました。また、地下鉄の利用促進ポスターを掲出するほか、二条城前駅構内に京都市立芸術大学の学生が制作した立体造形作品を展示するなど、関係各局や駅周辺の集客施設と連携して、地下鉄の魅力向上に取り組みました。

駅施設の一部を商業スペースとして有効活用する駅ナカビジネスでは、地下鉄両線の結節駅として主要な役割を果たしている烏丸御池駅のリニューアルを行い、5月16日に「Kotochika(コトチカ)御池」を開業しました。

#### (2) コスト削減の取組

駅職員業務の民間委託化の拡大実施や給与カットの継続など総人件費の削減に取り組むとともに、経費の節減にも努めました。

(3) 運輸成績

〔平成23年4月 1日から  
平成23年9月30日まで〕

区 分	当期	前年同期	増減	増減比率
営業日数 (日)	183	183	-	-
営業キロ数 (km)	31.2	31.2	-	-
在籍車両数 (両)	222	222	-	-
使用車両数 (両)	45,324 (248)	45,370 (248)	△ 46 -	△ 0.1% -
走行キロ数 (km)	10,423,926 (56,961)	10,417,916 (56,929)	6,010 (32)	0.1% (0.1%)
旅客数 (人)	62,018,134 (338,897)	61,437,140 (335,722)	580,994 (3,175)	0.9% (0.9%)
旅客収入 (千円)	11,680,593 (63,828)	11,576,357 (63,259)	104,236 (569)	0.9% (0.9%)

注1 営業キロ数及び在籍車両数は、各期末現在のものである。

2 使用車両数、走行キロ数、旅客数、旅客収入の( )内は、1日平均の数值である。

3 旅客収入は、消費税及び地方消費税を含む。



## 2 経理状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

平成23年 4月 1日から  
(平成23年 9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
高速鉄道事業費用	16,310,777	高速鉄道事業収益	14,324,015
営業費用	11,216,634	営業収益	12,551,197
保存費	1,694,280	運輸収益	11,629,921
運転費	1,088,504	その他	921,276
運輸費	1,617,493	営業外収益	1,772,818
管理費	689,136	他会計補助金	1,742,313
減価償却費	6,127,221	その他	30,505
営業外費用	5,094,143		
支払利息	5,082,425		
雑支出	11,718		
		当期純損失	1,986,762
合 計	16,310,777	合 計	16,310,777

備考 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	569,525,023	固定負債	186,273,048
有形固定資産	559,052,137	企業債	141,726,487
無形固定資産	9,869,746	その他固定負債	44,546,561
建設仮勘定	523,540	流動負債	37,963,202
投資	79,600	一時借入金	34,400,000
流動資産	1,653,298	未払金	1,365,275
現金預金	596,604	預り金	216,968
未収金	831,805	前受金	697,446
前払金	184,658	仮受金	1,283,513
仮払金	40,231	資本金	450,484,987
繰延勘定	256,339	自己資本金	179,452,853
企業債発行差金	256,339	借入資本金	271,032,134
		剰余金(欠損金)	△ 103,286,577
		資本剰余金	227,087,224
		欠損金	△ 330,373,801
合計	571,434,660	合計	571,434,660

備考1 有形固定資産の減価償却累計額は、2,118億6,730万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債等の状況

当期における企業債等の状況は、次のとおりです。

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	235,402,617	0	7,819,134	227,583,483
出資債	32,000	0	0	32,000
特例債	13,814,393	420,000	1,141,155	13,093,238
資本費負担緩和 分企業債	85,910,402	0	847,152	85,063,250
資本費平準化債	40,570,000	3,000,000	0	43,570,000
鉄道・運輸 機構借入金	47,490,823	0	2,944,262	44,546,561
長期借入金	43,849,564	0	432,913	43,416,651
合 計	467,069,799	3,420,000	13,184,616	457,305,183

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は344億円です。

## 平成23年度前期京都市水道事業業務状況

### 1 事業の概況

当期有収水量は、前年度同期に比べ203万立方メートル（2.3パーセント）減少し、8,724万立方メートルとなりました。

当期給水収益は、前年度同期に比べ4億4,210万円（3.05パーセント）減少し、140億6,878万円となりました。また、当期総収益は、151億6,277万円となり、一方、当期総費用は、72億4,550万円となりました。

建設改良事業については、上水道施設整備事業として、蹴上浄水場1・2号ちんでん池築造工事、松ヶ崎浄水場急速かくはん池改良工事、新山科浄水場1・2系ろ過池改修工事等を施工しています。また、幹線配水管布設替え及び相互連絡管布設（延長1.4キロメートル）、支線配水管布設及び布設替え（延長12.8キロメートル）等を施工しました。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成23年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
水 道 事 業 費 用	7,245,497	水 道 事 業 収 益	15,162,770
営 業 費 用	5,357,219	営 業 収 益	15,000,030
原 水 費	156,736	給 水 収 益	14,068,778
浄 水 費	1,369,951	他 会 計 負 担 金	37,834
配 水 及 び 給 水 費	2,107,464	そ の 他 営 業 収 益	893,418
業 務 費	1,210,134	営 業 外 収 益	162,740
総 係 費	510,321	受 取 利 息	8,197
資 産 減 耗 費	2,613	雑 収 益	154,543
そ の 他 営 業 費 用	0		
営 業 外 費 用	1,888,278		
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,887,658		
雑 支 出	620		
当 期 純 利 益	7,917,273		
合 計	15,162,770	合 計	15,162,770

備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。

2 当年度減価償却費予定額は、102億4,148万円です。

3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

資産の部	金額	負債及び資本の部	金額
	千円		千円
固定資産	283,055,817	固定負債	3,187,584
有形固定資産	278,826,586	引当金	1,304,144
無形固定資産	2,306,130	企業債償還積立金	1,883,440
投資	1,923,101		
		流動負債	915,187
流動資産	12,756,246	未払金	44,725
現金預金	4,870,123	前受金	403,921
未収金	2,950,352	預り金	266,541
有価証券	299,928	預り有価証券	200,000
貯蔵品	255,669		
保管有価証券	200,000	資本金	184,584,037
仮払金	25,283	自己資本金	27,886,533
短期貸付金	2,500,000	借入資本金	156,697,504
前払金	1,654,891		
その他流動資産	0	剰余金	107,138,389
		資本剰余金	92,928,891
繰延勘定	13,134	利益剰余金	14,209,498
企業債発行差金	13,134		
合計	295,825,197	合計	295,825,197

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、1,896億9,490万円です。

備考 2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成23年9月30日現在)

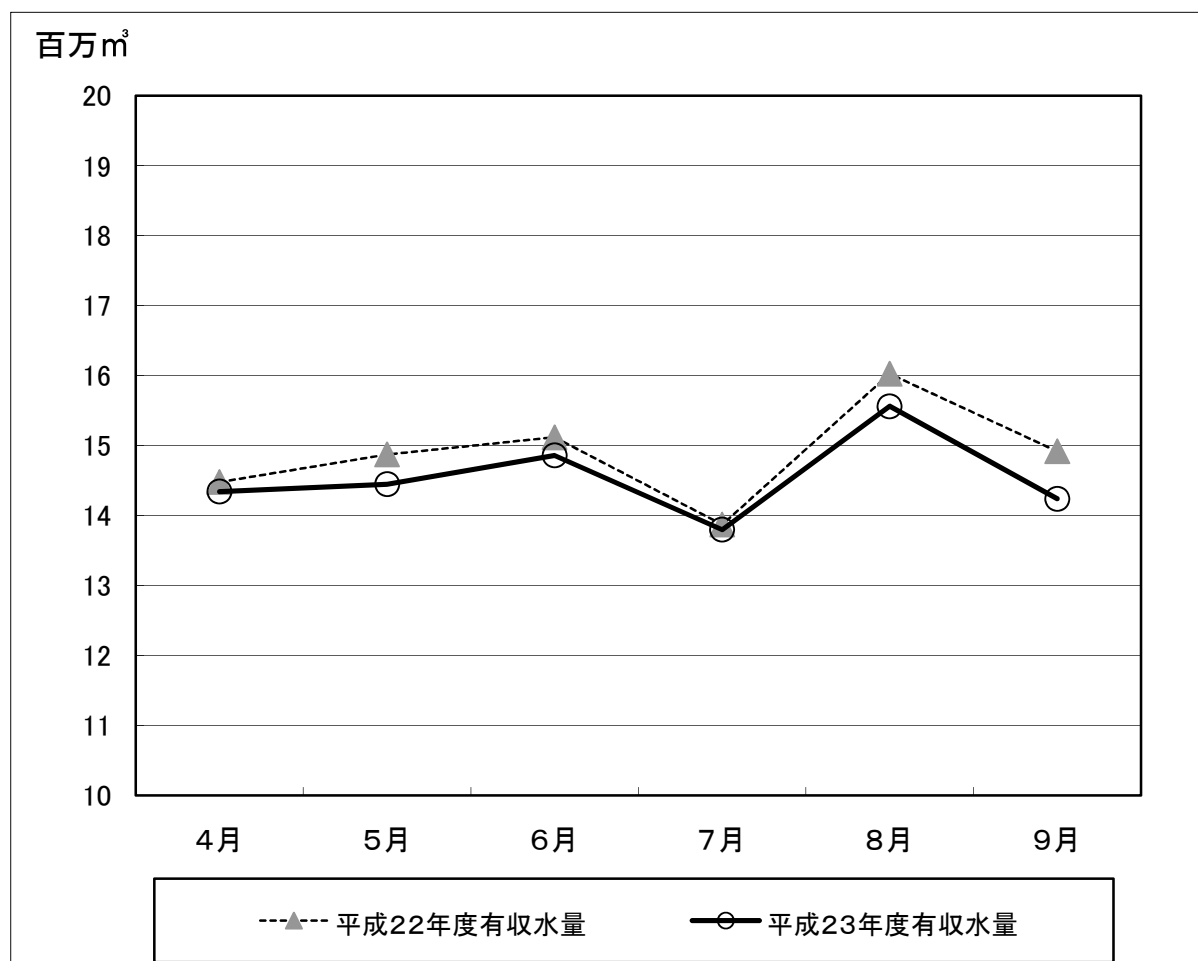
区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	162,810,272	3,813,451	9,080,327	157,543,396
合 計	162,810,272	3,813,451	9,080,327	157,543,396

#### (2) 一時借入金の状況

当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収水量  
 当期における有収水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収水量
平成	m <sup>3</sup>
23年 4月	14,342,220
〃 5月	14,446,257
〃 6月	14,857,699
〃 7月	13,797,328
〃 8月	15,560,218
〃 9月	14,238,985
合計	87,242,707
1日平均	476,736
前年同期1日平均	487,846





## 平成23年度前期京都市公共下水道事業業務状況

### 1 事業の概況

当期有収汚水量は、前年度同期に比べ160万立方メートル（1.7パーセント）減少し、9,546万立方メートルとなりました。

当期下水道使用料は、前年度同期に比べ2億7,640万円（2.1パーセント）減少し、127億6,036万円となりました。また、当期総収益は、234億7,655万円となり、一方、当期総費用は、95億2,780万円となりました。

建設改良事業について、管渠<sup>きよ</sup>では、七条東幹線、河原町分流幹線等の各幹線工事を前年度に引き続き施工しています。

ポンプ場では、住吉ポンプ場で監視制御設備の工事を前年度に引き続き施工しています。

終末処理場では、鳥羽水環境保全センターで階段炉乾燥設備の工事を、伏見水環境保全センターで汚泥圧送設備の工事を、石田水環境保全センターで特高受変電設備の工事をそれぞれ前年度に引き続き施工しています。

## 2 経理の状況

当期における経理の状況は、次のとおりです。

### (1) 損益計算書

(平成23年4月1日から同年9月30日まで)

損 失 の 部	金 額	利 益 の 部	金 額
	千円		千円
公共下水道事業費用	9,527,795	公共下水道事業収益	23,476,547
事業費用	4,720,175	事業収益	23,168,638
下水道維持費	949,155	下水道使用料	12,760,366
下水処理費	2,814,204	他会計負担金	10,236,586
業務費	627,181	その他事業収益	171,686
水洗便所普及 対策費	42,994		
総係費	286,641	事業外収益	307,909
		受取利息	10,237
事業外費用	4,807,620	他会計負担金	185,965
支払利息及び 企業債取扱諸費	4,806,683	他会計補助金	64,072
雑支出	937	雑収益	47,635
当期純利益	13,948,752		
合 計	23,476,547	合 計	23,476,547

- 備考 1 当期は、減価償却費を計上していません。  
 2 当年度減価償却費予定額は、192億8,400万円です。  
 3 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

## (2) 貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

資 産 の 部	金 額	負債及び資本の部	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	883,254,774	固 定 負 債	35,753,875
有形固定資産	880,192,426	企 業 債 償 還 金	20,642,748
無形固定資産	3,023,036	企 業 債	14,319,450
投 資	39,312	引 当 金	791,677
流 動 資 産	17,187,128	流 動 負 債	585,567
現 金 預 金	6,275,424	未 払 金	1,435
未 収 金	2,471,360	前 受 金	314,398
有 価 証 券	899,785	預 り 金	75,734
貯 蔵 品	1,621	預 り 有 価 証 券	194,000
保 管 有 価 証 券	194,000		
短 期 貸 付 金	5,000,000	資 本 金	507,549,935
仮 払 金	3,120	自 己 資 本 金	165,506,565
前 払 金	2,341,818	借 入 資 本 金	342,043,370
繰 延 勘 定	30,942	剰 余 金	356,583,467
企 業 債 発 行 差 金	30,942	資 本 剰 余 金	342,235,191
		利 益 剰 余 金	14,348,276
合 計	900,472,844	合 計	900,472,844

備考 1 有形固定資産の減価償却累計額は、3,809億4,914万円です。

2 消費税及び地方消費税相当額を含みます。

### 3 その他財政事情を明らかにするために必要な事項

#### (1) 企業債の状況

当期における企業債の状況は、次のとおりです。

(平成23年9月30日現在)

区 分	期首未償還額	当期借入額	当期償還額	期末未償還額
	千円	千円	千円	千円
建設企業債	371,918,225	4,958,000	14,575,691	362,300,534
資本費平準化債	14,706,000	0	0	14,706,000
合 計	386,624,225	4,958,000	14,575,691	377,006,534

#### (2) 一時借入金の状況

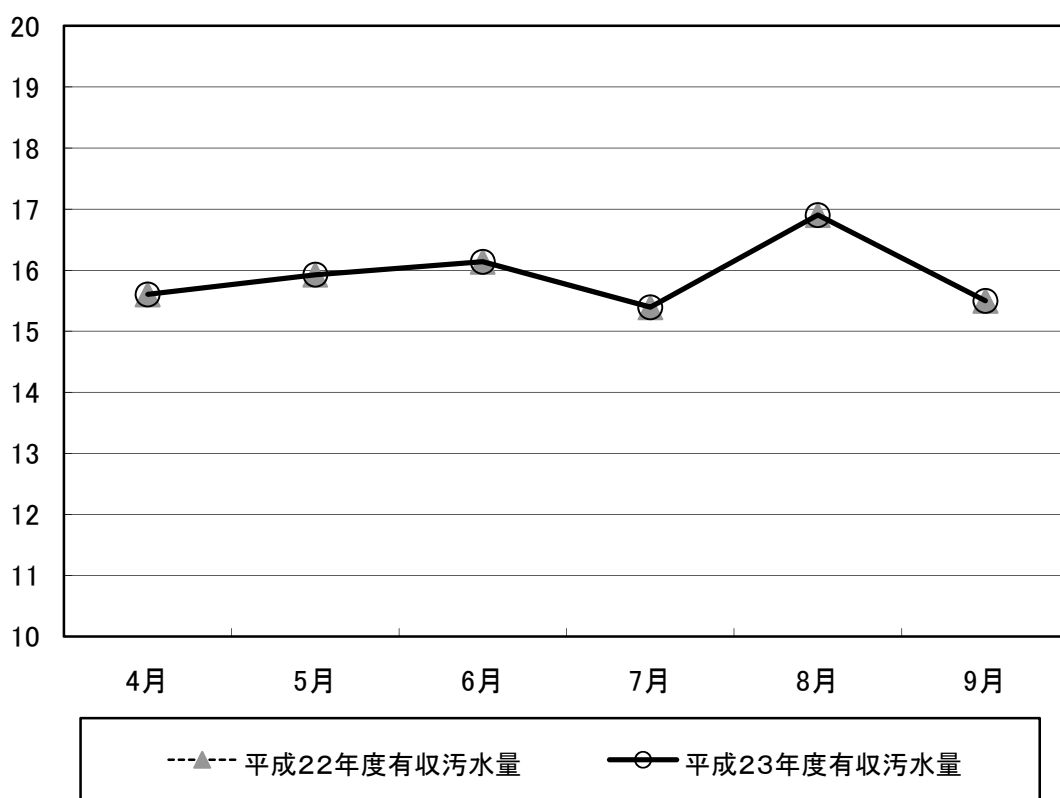
当期末現在の一時借入金は、ありません。

(3) 有収汚水量

当期における有収汚水量は、次のとおりです。

月別 / 項目	有収汚水量
平成	m <sup>3</sup>
23年 4月	15,604,264
〃 5月	15,925,149
〃 6月	16,138,955
〃 7月	15,392,552
〃 8月	16,902,004
〃 9月	15,498,169
合計	95,461,093
1日平均	521,645
前年同期1日平均	530,415

百万m<sup>3</sup>



(行財政局総務部総務課)